



## 佐藤 香 先生 によるお話

テーマ 「海外で音楽とともに生きる」

講演者 **カオリ・サトウ・オストロフスキー (佐藤 香) 先生**

(声楽専攻 1988年3月卒業 1990年3月研究科修了)

5月18日に行われた、「宮城学院創立130周年記念音楽会」で素晴らしい演奏を聴かせてくださった、佐藤 香先生が後輩の皆さんにお話をさせていただきます。学生時代の思い出、留学の動機、海外での勉強の苦労話や、どのように多くの困難を克服し、挑戦してきたか、先生からのメッセージを一緒にお聞きしましょう。

カオリ・サトウ・オストロフスキー 先生 プロフィール

宮城学院女子大学音楽科卒業、及び同研究科修了。鈴木 知、岡村直子の両氏に師事。日本演奏連盟推薦新人演奏会、読売新人演奏会に出演。

1991年、ニューヨークのマネス音楽院修士課程に公私の奨学金を得て入学。声楽をボニー・ハミルトン氏に師事する。1992年、アメリカのオペラ歌手の登竜門として名高い、リーダークランツ・コンペティションで1位優勝、リンカーンセンター・デビューを果たす。その演奏が認められ、マネージメントのディスペッカー社と即専属契約を結び、プロのオペラ歌手としての演奏活動を開始する。1993年修士号を取得後、カンベル奨学金を取得し、マネス音楽院での研究を継続。クィーンズ・オペラ・コンペティション、クズベツキー・コンペティション声楽部門で優勝。リーチ・アルバネーゼ・ブッチーニ国際コンクール、日本国際コンクールで入賞。

アメリカ国内を中心に、オペラ「蝶々夫人」の蝶々さんをはじめ、「ラ・ボエーム」のミミ、「トゥーランドット」のリウ、「フィガロの結婚」の伯爵夫人、「カルメン」のミカエラ、「リゴレット」のジルダ役等をつとめる。その他、ベートーヴェンの「第九交響曲」、フォーレ、モーツァルト、ヴェルディ作曲による「レクイエム」、ブラームス「ドイツ・レクイエム」、ロッシーニの「スタバート・マーテル」のソプラノソロとして数々のオーケストラと共演。カーネギー・ホールをはじめ、全米各地やヨーロッパでも演奏活動を行う。

現在、ニューヨーク州立大学パーチェス音楽院声楽科准教授として、後進の指導にあたる。



日時 2016年 **6** 月 **2** 日 (木)

12時15分~12時45分

会場 **音楽館 ハンセン記念ホール**

主催 宮城学院女子大学学芸学部音楽科

お問い合わせ TEL/FAX 022-277-6130 (音楽科)